



EDUCATION

伝統を守る！「東方輪太鼓踊り」へ挑戦！ 東方中学生徒会長 薬師寺 泰地



朝のボランティア活動

習の時間「を」活用し、全校生徒で練習を取り組んで

東方中学校は、全校生徒49名・各学年1クラスの小規模な学校です。私たちの学校生活は、毎朝のボランティア活動で始まります。校門では部活動ごとに曜日を決めてあいさつ運動を行います。それ以外、ほとんどの全員が隣接している熊野神社の清掃を行っています。ここで7月に開催される「熊野神社灯笼祭」では宮司様をはじめ実行委員会の人たちから「毎年準備がスムーズに始められる」など感謝の言葉をいただいています。また、1年生は毎年灯笼を作り神社に奉納しています。



こばやし秋祭りでの輪太鼓の演技

今年度の生徒会スローガン「信頼！熱意！実行！みんな」で刻む東方中の最高の歴史のもとに全校生徒が一丸となって、運動会や文化祭をはじめ、あらゆる行事に真剣に取り組む、最高の歴史を創り上げていきたいと思えます。



SPORTS

トランポリン九州大会上位入賞



小林高校2年 小川結生さん

将来はオリンピックに出場したい

空中でしかできないパフォーマンスがトランポリンの楽しさ。大会で優勝できたのは嬉しいですが満足はしていません。来年のインターハイで上位入賞し、将来はオリンピックを目標に頑張りたいです。

選手に話を聞きました

- ◆以下結果・敬称略
◆高校生以上男子
1位 小川 結生
3位 殿所 加奈子
4位 鎌田 優実
◆中学生男子
3位 小川 諒大
6位 志岐 ほのか



秀峰高校3年 殿所加奈子さん

最高の演技ができて満足です

中学生のころから数えて、今回で4回目の九州大会。武器の「体の柔らかさ」を生かし、今までで最高の演技ができて満足しています。11月の演技会が最後なので、練習してもっといい演技をしたいです。



練習をする選手ら

未経験者でも歓迎!!
地上ではできない宙返りなどを自由自在にできるトランポリン。レクレーション感覚で楽しみながら、始めることができます。興味がある人は一度見学に来てください。

小林T・JUNPIN
TEL 080-3952-5828
(稲留 和成監督)



文化の足跡 TRACES

小林の郷土芸能④～紙屋城攻め踊り・いちよう太鼓～

Vol.59



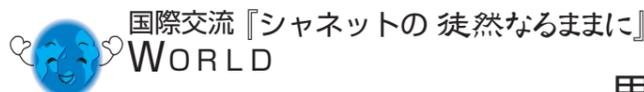
紙屋城攻め踊り

紙屋城攻め踊りは、戦国時代に伊東氏と島津氏の城争奪を繰り返した覇権争いが語り継がれ、江戸時代の社会安定期（元禄時代のころ）に、唄や踊りに表現されて発生したと言われています。紙屋地区では、昭和初期から一時途絶えがちでありましたが、昭和57年に紙屋小学校を中心に復活し、昭和61年に大人の保存会もできました。昭和63年には野尻町指定無形文化財になり、今日でも紙屋小学校や地元での保存会を中心に活動が行われています。



いちよう太鼓

いちよう太鼓は、須木地区の鳥田町小学校の児童により平成10年に結成されました。名前は鳥田町小学校の校庭に立つ樹齢130年ともいわれる大銀杏に由来します。小学校が廃校となった今も、鳥田町地区の小中学生を中心に活動を行っています。演奏曲は上級生が下級生にリズムやバチさばきを教えるという方法で引き継がれ、毎年、須木地区のほぜ祭りやすき納涼花火大会などで披露されています。



国際交流『シャネットの 徒然なるままに』 WORLD

思いを

Vol.22



最近、ヘレン・ケラーについて読みましたが、非常に感激しました。ケラーさんは19ヶ月のときに、病気のため、盲ろうになりました。6歳の頃、ある先生のおかげで、初めて情報伝達ができるようになり、それが、それまでに約5年間、コミュニケーションが取れない生活をおくっていました。暴れん坊だったケラーちゃんは周りと連絡が取れるようになり、驚くべき早いペースで、偉大な教養人になりました。前向きな名言をたくさん

ん残してくれたのです。「私は一人の人間に過ぎないが、一人の人間ではある。何もかもできるわけではないが、何かはできる。だから、何もかもはできなくても、できることをできないと拒みはしない」。よく考えると、名言を残せるのはすごいことです。昔は言葉もなかったのに、言葉ができてから、文字もでき、自分の思いをその場にいらなくても、伝えられるようになりました。今、読まれているこの文書もそうですよね。そして、200年前、電話のことはまだ想像もつかない、SFの世界だったのに、今のスマートフォンは80年代のパソコンの千分の一の大きさで、千倍ぐらゐの性能です。私は相変わらず糸電話が好きですけどね。ところで、最近アメリカでは、初めてテレパシーの実験が成功しました。そう遠くない未来にはきっと、テレパシーを通じて連絡を取り合うのでしょうか。そのときが来るまで、しっかりと自分の思いを言葉にして、大切な人にかかりやすく伝えましょう。